

# 交通ネットワーク方針の体系

### 地区を取り巻く交通の状況

**1) 幹線道路・アクセス道路**

- 国道134号は歩道付きの2車線道路で供用されている。計画幅員は25mであり、現在、拡幅のための街路事業が進められている。
- 市内陸部と本地区を結ぶ連絡道路として、サザン通り、南湖通りがる。
- また、中心市街地と海岸部を結ぶ主要な道路として、雄三通り(県道301号)がある。

《サザン通りの位置づけ》

- ・中心市街地と本地区を結ぶ、歩行者、自転車のアクセス道路

《南湖通りの位置づけ》

- ・住宅市街地を通り本地区に至る、地域住民のアクセス道路

《雄三通りの位置づけ》

- ・中心市街地と海岸部を結ぶ、自動車交通、公共交通の広域的なアクセス道路

**2) 区画道路**

- B地区を囲むように3路線の市道が整備されている。
- A地区では暫時整備が進められていく予定である。

**3) 駐車場**

- 漁業関連利用者の簡易的な駐車場が海岸西側にある。
- B地区、C地区には有料時間貸し駐車場がある。また、海水浴シーズン時には、砂浜の一部を駐車場に利用している。
- 地区内には、785台分の駐車容量があるが、8月下旬の休日の駐車場利用実態調査では3割程度の利用率であった。
- 地区外の国道134号北側には県営西浜駐車場が整備されている。

**4) 公共交通(バス)の運行状況**

- 民間バスは、茅ヶ崎駅南口から定期バスが運行され、雄三通り、国道134号を通過している。海水浴シーズンには増発される。
- 市営コミュニティバス“えぼし号”が運行され、利用者は増加傾向にある。
- バス停留所は国道134号に「市民プール」「海水浴場」などがある。

### 本地区の空間づくりの理念と土地利用ゾーニング

《空間づくりの理念》

- 自然環境再生・景観の修復  
(市民の共有財産である海浜づくり)
- ふれあう・やすらぐ・楽しむ  
(アメニティ空間の海浜づくり)
- 地域文化の伝承  
(地域文化の伝承の場となる海浜づくり)

《土地利用ゾーニング》

○A~C地区

- ・当面の建築物等の施設立地
- ・長期的な将来像としての緑地化

○海浜地区の土地利用ゾーニング

- ・自然環境の保全
- ・砂浜・海辺の活用
- ・漁業等に最小限必要な施設の設置

### 既存計画(茅ヶ崎市総合交通プラン)

《基本コンセプト》

『ひとを中心に考え、徒歩・自転車・公共交通を主体にした  
バランスある交通体系の構築』

《基本方針》

- ・市民のための空間を確保する交通環境
- ・市民の生活と地域の発展を支える交通環境
- ・良好な自然環境と調和する交通環境
- ・拠点開発やまちづくりと整合した交通体系
- ・誰にでもやさしい自由な移動環境
- ・長期的な将来像としての緑地化

【グランドプランでの交通ネットワークの総合的な考え方】

- 『徒歩・自転車利用』を主体とする交通ネットワークづくり
- 『公共交通』の利用を促進する交通環境づくり

◆『地域交通マネジメント』による実現  
【目標】自動車交通の4割削減

### 【本地区における交通ネットワーク構築の基本方針】

- 本地区の魅力向上を図ることによる、来訪者の増加に対応する。
- 徒歩・自転車利用を主体とし、自動車交通量を削減する。
- 公共交通機関への利用転換を促進する。
- 誰にも優しい、安全・安心な歩行者空間を形成する。
- 自然環境等の保全、修復ため、自動車の乗り入れを最小限とする。
- 地区周辺で共同駐車スペースを確保する。
- 地区内交通施設、地区へのアクセス道路の景観づくりに配慮する。

### 交通施設別の基本方針

1. 道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>①徒歩・自転車をメインとする交通アクセス</li> <li>②地区内への自動車交通の乗り入れ抑制</li> <li>③公園構想と一体化した区画道路の見直し</li> </ul>	<p>従来型ではない区画道路</p>
2. 駐車場整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地区内に漁業関係者等の必要最小限の駐車場を確保</li> <li>②来訪者のための共同駐車場を地区の周辺に確保</li> <li>③駐車場容量の減少(徒歩・自転車・公共交通の利用促進)</li> </ul>	<p>100台分の駐車容量の確保</p> <p>県営西浜駐車場等の活用</p>
3. 歩行者動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>①サザン通りをメインとする歩行者アクセス</li> <li>②環境、景観形成に配慮した地区内道路の歩行者空間</li> <li>③誰にでも優しく、地区へ安全に誘導できるユニバーサルデザイン</li> </ul>	<p>既存の最大駐車容量の4割削減</p>
4. 自転車動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自転車を利用促進するための環境づくり</li> <li>②観光レクリエーション、パークアンドサイクルの新たなシステム</li> </ul>	<p>バス交通充実と利用促進</p>
5. 広域交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公共交通機関や自転車利用の環境の向上</li> <li>②周辺の活性化を促進する広域ネットワーク</li> </ul>	<p>中心市街地との連携</p>